

平成29年度入学生用カリキュラムマップ

【生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号			
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目			
					A. 高い知性	B. 善美な情操	C. 高雅な特性	D. 高い知性、善美な情操、 高雅な特性の総合
17DARC1201	研究指導 I	1	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
17DARC1202	研究指導 II	1	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
17DARC2201	研究指導 III	2	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
17DARC2202	研究指導 IV	2	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
17DARC3201	研究指導 V	3	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
17DARC3202	研究指導 VI	3	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者を養成することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職人となるために必要な研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎